

1 技術を学ぶねらい

- ・生活に役立つ技術に関する「基本知識」や「技能」、生活をより良くするための「創造」や「工夫」を身につける。
- ・実際に生活に役立つ作品(教材)より、自ら課題を設定し解決する力をつける。また、完成した時の達成感や充実感を味わい、作る喜びを実感する。

2 学習方法

- ・授業や学習の基本は、授業規律の成立からです。忘れ物をしない、チャイムで始められる、私語なく静かに先生の話聞ける、準備や片づけを自主的にできる、などの学習の基本を身につけることから始まります。
- ①授業の進め方
- ・座学では、教科書とハンドノートを中心に作業に必要な基本的知識を身につけます。
 - ・実習では、授業の目標や作業内容を確認し、作業後にその日の振り返りを行います。
- ②定期考査… 授業の内容やプリント・ハンドノート等を中心に出題します。
- ③課題…授業で習ったことを用い、しっかり考え抜いて取り組みましょう。

3 持ち物、忘れものなどについて

●持ち物

教科書、ハンドノート、ファイル、タブレット

※配布されたタブレットPCを充電して持ってきてください。

※技術ファイルは、授業後回収し、定期考査前に返却します。(出席確認・持ち物点検をします。)

※服装は基本的に標準服です。作業内容によりジャージを着て、行う場合があります。

4 学習の評価内容と評価方法

- ①「知識・技能」
【実習に伴う知識と理解・ハンドノート・課題プリント・定期考査・作業の準備や片付け・提出物
作業手順の正しさ・工具や機械の使い方・作品の完成度】
- ②「思考・判断・表現」
【作品の工夫やアイデア・ハンドノート・課題プリント・振り返りの記入内容・定期考査】
- ③「主体的に学習に取り組む態度」
【課題プリント・ハンドノート・授業や作業への取り組み】

5 先生からのアドバイス

- ・授業中は安全第一に行動し、意欲的に取り組むようにしましょう。
- ・課題は必ず期限を守って提出しましょう。
- ・作品は必ず完成させるようにしましょう。

6 技術科 1年 年間学習計画

学期	月	単元名・学習内容	学習の目標	評価方法
1	4 ~ 7	<A 材料と加工に関する技術> (1) 材料を利用するための技術 (2) 問題解決の手順	<ul style="list-style-type: none"> ・木材や金属やプラスチックの材料と使用方法、科学的な原理・法則を説明できる。 ・じょうぶな構造や形状・組合せについて科学的な原理・法則を説明できる。 ・設計の仕方と簡単な設計ができる ・生活の中で利用されている製品に込められた工夫を読み取り、材料と加工の技術の見方・考え方に気付くことができる。 ・進んで材料と加工の技術に関わり、主体的に理解し、技能を身につけようとしている。 ・製品の問題解決の手順から、問題解決の視点について気付くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・ハンドノート ・課題プリント ・発言や意見 ・定期考査 ・製作図の理解
2	9 ~ 12	(2) 問題解決の手順 (3) 製作のための技能	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の中から材料と加工の技術に関わる問題を見いだして、収納に関わる課題を設定することができる。 ・課題の解決策となる製作品の大きさ・形状・構造など、使用場所や加工方法・使用できる材料などの制約条件に基づいて構想し、設計や計画を具体化できる。 ・製作品の構想図をかき、試作品を製作することができ、製作に必要な図面や表をかきあrawすことができる。 ・安全・適切に材料取り・切断・部品加工を行うことができる。 ・安全・適切に組立て・仕上げと検査・点検、必要に応じた改善・修正ができる。 ・適切に組立てができるよう手順を考えて、組立てを行うことができる。 ・完成した製作品が設定した課題解決をできるか評価するとともに、設計や製作の過程に対する改善及び修正を考えることができる。 ・自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるよう他者と協働して粘り強く改善・修正しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・ハンドノート ・課題プリント ・発言や意見 ・安全な作業への取り組み ・工具や機械の適切な使用 ・定期考査
3	1 ~ 3	<A 材料と加工に関する技術> (4) これからの材料と加工の技術	<ul style="list-style-type: none"> ○材料と加工の技術の学習振り返り ・これまでの学習と、材料と加工の技術がよりよい生活や社会の実現に果たす役割や影響を踏まえ、材料と加工の技術の概念を説明できる。 ・よりよい生活の実現を目指して、材料と加工の技術を評価し、適切な選択・管理・運用の在り方について提言をまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・ハンドノート ・課題プリント ・安全な作業への取り組み ・工具や機械の適切な使用 ・定期考査